

平成28年度

倉吉市教育行政の点検及び評価

倉吉市教育委員会

平成29年5月

目 次

はじめに	1
1 評価・公表について	2
2 評価に当たって	3
3 主な重点施策の成果	3
4 平成28年度教育方針と重点施策	5
5 重点施策の実績と評価	6
・倉吉市教育の創造	6
・学力向上の推進	7
・豊かな心とたくましい体の育成	8
・倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成	9
・家庭・地域と連携した開かれた学校づくり	10
・よりよい倉吉教育を目指して	10
・給食の充実、食育の推進	11
・地域力を育む社会教育の推進	12
・支えあう人づくり・輝くまちづくり	12
・公民館活動の推進	13
・体育・スポーツの振興	14
・文化財の保存、活用、伝承	15
・親しみ学ぶ機会の提供できる博物館	16
・豊かな心を育む図書館づくりの推進	16
6 教育委員会の主な動向	17
(1) 教育長、教育委員の在任状況	17
(2) 教育委員会の会議	17
(3) 教育委員会の開催状況	17
(4) 総合教育会議の開催状況	19
(5) 計画訪問・意見交換会・諸行事への参加	19

はじめに

平成19年6月に「教育改革関連3法」の改正が行われ、その中で、教育委員会の責任体制の明確化や体制の充実に関する規定の整備を図るため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表をしなければならないとされました。

倉吉市教育委員会では、本市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、平成23年に“くらしよし”ふるさとビジョン（第11次倉吉市総合計画）と連携した「倉吉市教育振興基本計画」を策定し、将来的な方向性や今後5年間（平成23年度～平成27年度）に重点的に取り組むべき施策を示すとともに、各年度の「倉吉市の教育方針と重点施策」と「倉吉市教育行政の点検及び評価」により進行管理をし、着実な計画の推進に努めてきました。その結果、倉吉市の教育理念「豊かな心を持ち、個性を發揮する人づくり」の実現を図るための様々な施策を展開することができました。

そして、今後、一層進む少子高齢化社会に対応する教育行政をするために、「倉吉市教育振興基本計画」の第二期（平成28年度～平成32年度）を策定いたしました。

倉吉市教育委員会としては、特に「豊かな心を持ち、個性を發揮する人づくりの推進」「魅力ある歴史・文化資源を活用した文化の振興」を政策に掲げ、「生涯学習の推進」「義務教育の充実」「文化財の保護と活用」「体育・スポーツの振興」などに重点をおきながら、誰もがいつまでも「学び続ける人づくり」を目指し「みんなが生きる喜び」をもてるような取り組みを進めていかなければなりません。

そのためには、自ら設定した教育に関する方針や施策の実現を図るために、事業等の取り組み状況を日々点検・評価を行いながら改善を図り、より充実したものにしていけることが必要です。

そこで、市民から信頼される教育行政を目指し、教育委員会や事務局の役割、事業の進捗状況等について説明責任を果たすため、重点的に取り組んだ14項目の点検・評価を行い、その結果を公表し、効果的な教育行政の推進を図るものです。そのほか、教育委員会の会議の開催などの活動状況を記載し、ここに報告書としてまとめました。

※参照

◎地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

1 評価・公表について

(1) 実施時期

点検及び評価は毎年度行うこととされており、当該年度における取り組み状況の点検・評価を年度内に行う。

(2) 評価の方法

教育委員会全般にわたり適正な教育行政の点検・評価や総合計画に掲げた目標水準の達成状況、施策の進捗状況との整合性を図りながら評価項目を策定し、評価にあたっては、審議会等に諮り、自己評価、外部評価を行う。

(3) 議会への報告

報告書を作成し議会に提出しなければならないこととされており、6月市議会に報告を行う。

(4) 一般への公表

課題を共有化しその解決を図るために広く意見を求め、より適正な評価に努めるために評価結果を市民に公表する。

(5) 各種教育関係機関の評価結果の活用

学校評価、社会教育団体、文化団体、スポーツ団体の評価結果の効果的な活用を行う。

(6) 外部の有識者等の知見の活用

○点検・評価・公表の流れ

教育委員会事務局の組織マネジメント(PDCA)及び業務評価システムの確立

P計画 → D実施 → C検証(中間評価) → A実行 → C評価(自己・最終)

4月 倉吉市の教育方針と重点施策を基にした各課の基本方針と実施計画を策定する



9月 重点施策の実施計画の進捗状況のチェックを中間評価とする。



2月 重点施策の実施状況を各課で自己評価をする。



3月 各課の担当する審議会等に自己評価結果を提出し、外部評価を最終評価とする。



4月 教育委員会定例会で業務評価として協議し、市議会に提出し、6月市議会に報告する。

市民へは、リーフレット、ウェブページ、市の広報誌等を活用して公表する。

2 評価に当たって

第11次倉吉市総合計画における、施策と教育委員会事務局で組んでいる施策との整合性を図りながら総合的な観点での評価に心がけた。評価に当たっては、平成28年度各事業の施策に示した目標に向かって、取り組むべき事業ごとに「目標」「実績」「成果」「課題」の観点に分けて行うこととした。また、評価項目については特に焦点化をはかり点検・評価の重点化を図ることとした。

○ 評価基準

平成24年度評価より評価基準を見直し、目標を上回る成果が上がった場合をA評価とした。目標値達成率を目安に、「成果」欄には、実績によって得られた成果を中心に評価を行った。

成果	判断基準
A	当初の目的・目標を上回る成果が上がった（目標値の110%以上）
B	当初の目的・目標を達成した（目標値の90%以上110%未満）
C	当初の目的・目標を下回る成果に止まった（目標値の60%以上90%未満）
D	当初の目的・目標を大きく下回った（目標値の60%未満）

3 主な重点施策の成果

区分 施策と担当課	施策数	成果			
		A 目的・目標を上回る	B 目的・目標を達成	C 一部の進展に止まった	D 目的・目標を下回る
倉吉市教育の創造					
教育総務課	3	1	2		
学校教育課	1				評価不能
学力向上の推進					
学校教育課	4		4		
豊かな心の育成とたくましい体の育成					
学校教育課	4		3	1	
倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成					
学校教育課	4		4		
家庭・地域と連携した開かれた学校づくり					
学校教育課	3		3		
よりよい倉吉教育を目指して					
学校教育課	3		3		
給食の充実、食育の推進					
学校給食センター	4	1	3		
地域力を育む社会教育の推進					
生涯学習課	2	2			
支えあう人づくり・輝くまちづくり					
生涯学習課	3	1	2		

施策と担当課	施策数	A	B	C	D
公民館活動の推進					
生涯学習課	3	3			
体育・スポーツの振興					
生涯学習課	4	1	3		
文化財の保存、活用、伝承					
文化財課	2	2			
親しみ学ぶ機会の提供できる博物館					
倉吉博物館	3		2	1	
豊かな心を育む図書館づくりの推進					
市立図書館	3	2	1		
計	46	13	30	2	※1

※1・・・評価不能1

平成28年度 倉吉市の教育方針と重点施策

～行きたい学校・
帰りたい家庭・
住みたい地域～

教育基本法
・人格の完成と、社会の形成者としての国民の育成
学校教育法
社会教育法
図書館法
文化財保護法
博物館法

【教育理念】
豊かな心を持ち、個性を発揮する人づくり

【教育目標】

- ・幅広い知識を身に付け、豊かな心を培い、健やかな体を養う。
- ・個性を尊重し、創造性を培い、自律性・自主性を養う。
- ・社会の一員として、参画し寄与する態度を養う。
- ・自然を大切に、伝統と文化を尊重する態度を養う。
- ・郷土を愛し、他人や他の地域を尊重する態度を養う。

“くらしよし”ふるさとビジョン

【将来都市像】
愛着と誇り 未来いきいき
みんなでつくる倉吉

【教育・文化・コミュニティ】
活力に満ち、豊かな心と文化が息づくまち
倉吉市まち・ひと・しごと創生総合戦略

倉吉市教育の創造

- ・第2期倉吉市教育振興基本計画の進ちょく管理（5年計画の1年目）
- ・倉吉市教育委員会の活性化（教育に関する事務の点検・評価の推進、総合教育会議、学校・公民館訪問）
- ・「倉吉市立小学校適正配置推進計画」に基づく学校再編の推進（各校区説明会、各地区協議会の立ち上げ）
- ・学校教育施設・教育施設等の整備運営（ICT機器の整備、タブレット端末、教育用LANシステム）
（学校施設耐震化促進 成徳小・明倫小校舎、小鴨小教室棟増築、上灘小体育館跡地整備、西中体育館横トイレ）

学校教育基本方針
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成
～自ら学び、たくましく生きる～

社会教育基本方針
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進
～いつでも どこでも だれでも とともに学び 地域力を育む～

学力向上の推進

- ・学力向上推進支援（小・中連携教育の推進、合同研修会）
- ・わかる授業のための授業改善（教職員の指導力向上）
- ・細やかな指導を行う体制づくり（少人数学級・教員加齢）
- ・外国語教科化の対応 ALT配置の増員 ICT活用

地域力を育む社会教育の推進

- ・現代的課題やライフステージに応じた学習内容・機会の充実
- ・鳥取大学・鳥取看護大学・鳥取短期大学との連携
- ・子育て十ヶ条の普及・啓発

豊かな心とたくましい体の育成

- ・道徳教育・人権教育の充実
- ・体験活動の充実（赤ちゃんふれあい事業）
- ・キャリア教育の充実（職場体験）
- ・いじめを許さない学校体制づくり
- ・問題行動、不登校の未然防止・早期対応
- ・相談体制の充実（スクールソーシャルワーカー増員）
- ・読書活動・情報教育の推進
- ・学校体育、健康教育及び学校保健、安全教育の充実

支えあう人づくり・輝くまちづくり

- ・地域を支える人づくりの推進（若者の集いの場）
街全体をキャンパスとした若者によるくらし大学の構築
- ・青少年の健全育成と団体支援（地域・体験活動の推進）

倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成

- ・倉吉独自の教材の活用（くらし風土記の活用・倉吉検定）
- ・地域の人・もの・ことがらに触れる教育活動の推進
- ・倉吉らしさを取り入れた教育活動の実施（土曜授業）

公民館活動の推進

- ・学習の質向上と学習成果の活用（地域団体との連携）
- ・人づくり・地域づくりの推進（公民館研究指定事業）
- ・安全安心な施設整備（トイレ洋式化、屋根・手すり等改修）

家庭・地域と連携した開かれた学校づくり

- ・地域学校委員会の充実並びにスクールコミュニティへの移行
- ・学校支援ボランティアの拡充

体育・スポーツの振興

- ・市民のスポーツ活動機会の充実（スポーツ交流の推進）
- ・スポーツ大会の開催（全国高校総体自転車競技・駅伝大会）
- ・体育施設の整備充実（野球場・陸上競技場・武道館・B&G）

よりよい倉吉教育をめざして

- ・特別支援教育の充実（早期支援研究・元気はつらつプラン）
- ・家庭教育の充実（研修機会の拡大）
- ・幼保小連携の充実（接続期のカリキュラム作成）

文化財の保存、活用、伝承

- ・伝建地区の保存（修理・修景事業、保存対策調査）
- ・指定文化財の整備と発信（小川家・庭園、倉吉淀屋）
- ・埋蔵文化財の調査（中尾遺跡、天神野・津原遺跡群）

学校給食の充実、食育の推進

- ・栄養教諭等による食に関する指導
- ・食物アレルギー対応の推進
- ・衛生管理の徹底

親しみ学ぶ機会の提供できる博物館

- ・郷土の文化芸術、伝統文化を学べる場の提供
- ・美術展の開催（菅橋彦大賞展、特別展「北斎展」）
- ・安全安心な施設整備（民俗資料館の外壁等改修）

豊かな心を育む図書館づくりの推進

- ・図書館資料の収集・提供、レファレンスサービスの充実
- ・読書活動の推進（講演会等）
- ・山上億良短歌募集（1300年記念祭、全国からの募集）

5 重点施策の実績と評価

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
倉吉市教育の創造	第2期倉吉市教育振興基本計画の進ちょく管理(5年計画の1年目)	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画に基づく重点施策実施計画の策定 教育に関する事務の点検・評価の推進 	教育総務	教育行政の点検・評価を行うとともに、実施計画を作成、11月に進捗状況を確認、3月に各課による自己評価を行った。	B	B	<p>各施策について、概ね当初計画のとおり実施することができた。</p> <p>学校教育施設・教育施設の整備については、震災の影響が少なからずあったが、計画通りに進めることができた。</p> <p>学校再編の推進については、山守・関金小学校を統合し、平成28年4月に(新)関金小学校を開校することができた。</p> <p>各地区の協議会立ち上げ前に震災が起きたため、取り組みを一時中断しているが、平成29年度4月からは市民説明会を行い、計画を進めていきたい。</p>
	倉吉市教育委員会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 倉吉市教育の方針の明示 住民の意向や教育現場の実情の把握 総合教育会議の充実 教育委員の活動の顕在化 	教育総務	学校計画訪問、諸行事へ積極的に参加した。また、計5回のリレーコラムや教育委員会定例会、市長との意見交換の場である教育総合会議を2回開催しその会議録等をホームページに掲載し、情報発信に努めた。	B		
	「倉吉市立小・中学校の適正配置等について」に基づく学校再編の推進	<ul style="list-style-type: none"> 適正配置の課題の整理と各地域・関係団体との協議の実施 	学校教育	<ul style="list-style-type: none"> 新関金小学校が開校し、順調に学校運営がなされている。 倉吉市立小学校適正配置推進計画の小学校区別説明会を13校区で開催した。 適正配置の一番の当事者である保護者へのアンケートを実施した。 鳥取中部地震の影響により、適正配置に関する地区協議会の立ち上げを進めることができなかった。 	評価不能		
	学校教育施設・教育施設の整備運営	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設耐震化促進(成徳小・明倫小・屋内運動場等天井等落下物防止(小鴨小)) 小鴨小学校校舎増築工事 上灘小学校旧体育館跡地整備 西中学校体育館横トイレほか整備(防災機能強化) 教育用LANシステム、タブレット端末整備 鳥取県中部地震による学校施設の復旧 	教育総務	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり工事および整備が進捗した。 鳥取県中部地震の影響から緊急に対応する必要のある災害復旧工事を実施した。 	A		

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	2 学力向上の推進	1	学校教育	<ul style="list-style-type: none"> 各中学校区で講師を招聘した研究授業及び研修会を複数回実施した。 各中学校区で小中学校に共通した課題を見つけ、それに基づいた目標を設定した上で、各校で授業実践をした。その上で、小中連携の成果と課題を明らかにした。 全国学力・学習状況調査の結果を中学校区別に分析し、校区内の小中学校で共通に取り組む事項を決め、実践する取組が見られた。 	B	B	<p>市教委要請訪問を実施し、指導係で指導案検討の会を行った上での指導助言を繰り返した。</p> <p>市初研と連携し各研修会を実施するなど、各学校の学力向上へ向けての授業改善に努めた。また、英語の教科化をにらみ、市立小学校教員を対称に、悉皆研修（英語）を実施した。</p> <p>中学校区教育を更に推進していくために授業研究会を中学校区ごとに実施し、児童生徒の学力向上及び生きる力の育成に努めた。</p>
		2	学校教育	<ul style="list-style-type: none"> 要請訪問指導助言18回 中学校CRTの結果 1年生平均点 数学 全国比+ 国語・英語全国比- 2年生平均点 全教科（国・社・数・理・英）全国比+ 特に数学+9.2, 理科+7.8 	B		
		3	学校教育	<ul style="list-style-type: none"> 10校に加配を配置。 学校、学年、学級の実態に応じた少人数指導を実施した。 今後、より効果的な少人数指導のあり方（学習グループ分けの視点、指導方法等）について、校内研究推進と連携しながら検討を継続していく必要がある。 	B		
		4	学校教育	<ul style="list-style-type: none"> 8月より、ALTが2名増員となり合計4名となり、中学校での英語授業、小学校での外国語活動が活発に展開された。 小学校での英語教科化に向けた教職員向けの研修会を3回実施し、教職員の意識が高まった。 	B		

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	3 豊かな心とたくましい体の育成	1	学校教育	・人権教育の充実（普遍的な視点からのアプローチによる人権学習の授業づくり）	・「普遍的な視点からのアプローチによる人権学習の授業づくり」をテーマに、理論、授業での活動例、実践報告と研修を深めた。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育に関しては概ね計画通りに実施することができた。久米中学校区では、国指定の事業を受け、友達との関わりを深めるため、ホワイトボードを活用した学習を行った。 ・赤ちゃんとふれあい会については、概ね計画通りに実施し、関係課からも取り組みに高い評価をいただいている。 ・青少年問題対策協議会を開催し、各機関と連携しいじめ・問題行動等等青少年の問題に取り組むことができた。 ・いじめ対策推進法のもと、各学校がいじめの未然防止及び早期発見に力を入れている。 ・年度途中よりSSWerを3名にし、児童及び家庭支援の取り組みを充実させ、保護者の不安の軽減も図ることができた。 ・体力面は概ね良好な状況である。
		2	学校教育	・道徳教育・体験活動の充実（赤ちゃんふれあい事業）	小学校11校中学校5校が赤ちゃんふれあい会に参加。参加した児童生徒たちは、命の大切さや自分も大切に育てられた存在であると感じることができ、高い教育効果があった。しかし、赤ちゃんの人数が少なく対応に苦慮していることから、来年度工夫が必要である。	B	
		3	学校教育	・相談体制の充実、いじめや問題行動の未然防止、（倉吉市いじめ防止基本方針の徹底、不登校対策）	倉吉市18校が、いじめ防止基本方針に則り、PDCAサイクルを回しながら、いじめの未然防止と早期対応を図っている。 不登校問題については、小中学校とも出現率が増加した。生徒指導対策推進会議で、学校体制での組織的な対応について研修を重ねてきているが、未然防止という視点での取組が不十分かと思われる。 SSWer支援状況 支援会議 76回 家庭訪問 83回 保護者面談 25回 関係機関訪問 20回 学校訪問 130回 登校支援 6回 実務者会議 3回 子ども支援センター活用児童生徒数 中学生12名、小学生0名、計12名	C	
		4	学校教育	・たくましい体の育成（体育、健康教育、学校保健の充実、安全教育の充実）	○親子で学ぶ食の教室を小学校8校において実施（地震のため5校7学級未実施） ○喫煙防止教育を、小学校9校、中学校3校において実施 ○性教育講座を4中学校において実施 ○新体力テストの結果でおおむね良し（A～C）と判定される児童生徒の割合 小学生 81.3% 中学生 81.0% ○通学路の新規危険箇所を抽出した結果、33箇所の合同点検を実施し、決定した対策については、各機関において実施されてきている。 ○平成25年度振り返り結果 ・安全性が高まった。68.8% ・あまり変わらなかった。18.8% ・課題が残った。12.5%	B	

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	4 倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成	1	学校教育	「わたしたちの倉吉」は、小学校の社会科の授業で随時活用、「くらよし風土記」は、土曜授業における「ふるさと学習」や総合的な学習で中学校で活用した。倉吉検定については実施できなかった。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「くらよし風土記」は中学校の土曜授業を中心に活用され、ふるさと倉吉について多くの学びがあった。 ・地域人材・ゲストティーチャーを活用する学校が多くなっただけでなく、地域への関心を高めるため、地域に出かけて学習するなど地域のよさに気づかせるための取り組みが充実してきた。 ・土曜授業を行うにあたり、計画に沿って学習を実施することができた。
		2	学校教育	各小中学校がそれぞれの教育課程に合わせて、市内にある多くの地域施設を見学し、施設の役割や思いを理解する体験的な学習など実施している。また、小学校だけでなく今年度は中学校においても、ふるさと発見ウォークラリーや、地域調査学習「わが町倉吉探訪」など、学習を通して郷土の一人として地域への関心を高め、より良い地域をつくろうとする意欲を高める取組が実施できた。	B		
		3	学校教育	全小中学校が土曜授業を実施し、地域によって特色ある取組ができた。	B		
		4	学校教育	今年度で8年目となり、学校が主体となって地域を交えた取組が定着してきている。菜の花の種子散布だけでなく、あいさつ運動、エコキャップ運動、クリーン活動等も定着してきている。中学校の地域貢献活動も増えてきており今年度は2中学校で実施された。また、今年度は熊本地震に対して義援金と菜の花の種を送付した。	B		

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価		
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	5	家庭・地域と連携した開かれた学校づくり	1	<ul style="list-style-type: none"> 開かれた学校づくりの推進（学校評価の効果的な活用） 	学校教育	概ね計画通りに実施した。土曜授業とも重なって、学校公開の回数が増えている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 各学校とも地域への情報発信に意欲的に行った。 教育を考える会については、地震の影響で中止或いは延期をする地区もあった。 地域と学校との連携が強化されつつある。次年度以降、“協働”を意識した取り組みがより必要である。 地域の次世代育成のための学校の役割を考え、取り組みの充実を図っていく必要がある。 	
			2	<ul style="list-style-type: none"> 学校地域連携の取り組み推進（子どもの出番づくり） 	学校教育	13地区で「教育を考える会」を実施。地震の影響で延期になり例年より時期が遅い開催となったが、各地区において、子どもの成長を考えていく内容が多く実施された。	B		
			3	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営に参画する体制づくり（地域学校委員会の充実） 	学校教育	各学校の地域学校委員会が地域の特色を活かして活動し、地域と学校との連携がより強化されてきた。さらに協働となるよう今後の方向性を考えることができた。学校支援ボランティア人数1,470人延べ人数28,943人	B		
	6	よりよい倉吉教育を目指して	1	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の充実（児童生徒を支える学校体制づくり） 	学校教育	<ul style="list-style-type: none"> まなびの教室教育相談により次年度に入学する児童の就学支援につながった。リーダー育成研修会では、スキルアップしたリーダーをアドバイザーとして研修会に参加。さらなる活用を工夫したい。 全小学校にMIMを導入し2年目になる。楽しく分かる授業・指導に効果があった。大阪狭山市からの視察があり、お互いの情報交換を行い、困り感のある児童に対する個別の対応について検討をしていきたい。 	B		<ul style="list-style-type: none"> 移行支援会議により、就学・進学に関わる課題に対応できるようになっている。今後さらに、早期支援を行う体制づくりを進めていく必要がある。 就学援助に関わり、民生児童委員の要望を受け、民生児童委員と学校との連携体制づくりを進めることができた。
			2	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育の充実（研修機会の拡大） 	学校教育	小P連・中P連との共催により教育講演会を開催して、2年目となった。テーマを決め、子育て親育ちについて分かりやすい講演が好評だった。	B		
			3	<ul style="list-style-type: none"> 教育助成の充実（就学援助事業の周知と適切な執行） 	学校教育	計画通りに執行した。関係者に十分説明をした。	B		

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	7 学校給食の充実、食育の推進	1 栄養教諭等による食に関する指導	給食センター	小中学校9年間を通じて専門的な指導を行うことにより、児童生徒の「食に対する理解と関心」を深めることができた。 また、全小学校1年生と保護者を対象とした「親子で学ぶ食の教室」は、保護者の参加が多く、「食に関する会話が家庭内で増えた」などの声を保護者からいただいている。ただし、地震で給食センターが被災したため、地震後は教室を開催することができなかった。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 給食主任や学級担任、教科担任等と連携を図りながら、望ましい食習慣の定着につながるよう、食に関する指導等を進めることができた。 食物アレルギーを有する児童生徒が多い現状の中、食物アレルギー対応研修会を開催することで、全教職員が食物アレルギーの基礎的知識の習得や、児童生徒のアレルギー症状発症時の校内の緊急対応等への共通理解を図る貴重な機会となった。 今後、食物アレルギー対応の現状での課題を踏まえながら、対応方法の見直しについて、検討を進めていく必要がある。 鳥取県中部地震により、学校給食センターが被災し調理ができなくなったことに伴い、保護者には朝早くから弁当の準備等で協力をいただいた。 このような状況の中、中部地区4町、鳥取短期大学、鳥取県、民間事業者をはじめとする、関係機関から支援をいただくとともに、鳥取県内外からも様々な支援と励ましをいただいた。
		2 学校給食衛生管理基準に基づいた衛生管理の徹底	給食センター	学校給食衛生管理基準に基づく、調理業務の衛生管理等について、工程表等を確認しながら責任者と協議し、随時指導を行った。また、市の衛生管理マニュアルに基づき、日々の調理業務の衛生管理の徹底を図った。	B		
		3 食物アレルギー対応の推進	給食センター	個別の食物アレルギー献立表を作成し、学校・保護者と連携しながら食物アレルギー事故の防止を図った。また、教職員等を対象とした食物アレルギー対応研修会を開催し、食物アレルギーへの理解を深めた。	B		
		4 鳥取県中部地震における給食対応	給食センター	<ul style="list-style-type: none"> 10月24日は、パンと牛乳を提供。 10月25日は、パン、牛乳、支援物資（おにぎり）を提供。 10月26日から10/31まで、簡易給食（パン、牛乳、ゼリーなどの支援物資を含む補助食品）を提供。 11月1日から弁当を持参、ただし、避難所から通う児童生徒には、避難所配布の弁当を配食。 11月14日から、中部地区4町の給食センターからの支援給食（パン、牛乳、汁物、補助食品）を提供。 12月8日から、鳥取短期大学の調理施設を借りて簡易給食（パン、牛乳、汁物、補助食品）を提供。 1月16日から、市内民間事業者からの副食提供による簡易給食（ごはん、牛乳、副食）を提供。 2月1日から、市外民間事業者からの副食提供による簡易給食（ごはん、牛乳、副食）を提供。 	A		

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	8 地域力を育む社会教育の推進～現代的及びライフステージに応じた学習機会の充実～	1 成人式（成人式実行委員会、中学生ボランティアによる運営）	生涯学習	鳥取県中部地震により会場の変更など成人式の実施に大きな変更があったが、実行委員・実行委員会OGOBも企画を一部変更し、成人式開催に向け、協力して取り組んだ。 実行委員 10人 実行委員会OGOB 6人 中学生ボランティア 42人	A	A	○成人式実行委員を経験したOGOBが、新実行委員の初めての会議を担当したり、当日の運営を行政と一緒に担ってくれた。学びを通して繋ぐことができた。 ○混乱を防ぐため予定通りの日時で開催することに努め、復興へ繋がる内容や会場が変わっても満足してもらえるよう中学校の校舎の写真を体育館の壁に貼り記念写真が撮れるように工夫した。 ○各種講座は、年齢層の拡大や、施策とする「学びを活かす」ことを内容に取り入れて実施した。次へ活かすことができるよう次年度へつなげていく。
		2 各種講座開設 専門・実践的な高等教育を受ける機会確保（鳥取看護大学・短期大学・倉吉市連携講座、生涯学習講座、鳥取大学連携講座、人材銀行、女性連絡会）	生涯学習	女性連絡協議会の活動は中学校区ならびに全体での研修において、参加者の活発な意見交換や主体的な交流が進められ、次年度の活動に弾みがあった。 講座は、参加者年齢層の拡大に努め、講座を若者にも興味のある内容を鳥大、看護・短大とそれぞれ協議し企画した。少数ではあるが若い世代の参加があった。 鳥大連携パソコン講座では、初心者向け講座以外に、新たに講演、中級編、鳥大を会場としたデジタルコンテンツの作成と発信ワークショップを加え実施した。	A		
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	9 支えあう人づくり・輝くまちづくり～絆づくりや地域のコミュニティ形成に向けた学習活動の推進～	1 青少年の健全育成と青少年団体の育成支援（子ども会・ものづくり道場・伝統文化体験教室）	生涯学習	夏休み子ども体験教室（伝統文化体験教室）は山上憶良記念事業の一環として他課の協力を得て実施した。また、中部ものづくり道場と共催することで道具の使い方など指導していただき安全に体験することができた。	A	B	○山上憶良伯耆守赴任1300年記念事業の一環として夏休み子ども対象事業に社会教育関係課で取り組みことで、充実した学習を提供することができた。また、縁ある社地区の方に組紐づくりを覚えていただき、子ども達に指導していただくことができた。 ○各地区の取り組みを共有することで、学習内容を参考に実施することができた。 ○地震で中止を余儀なくされたが、元気回復のために実施したりと子どもの状況に合わせた活動ができた。 ○鳥取大学との連携として「ネットとの正しい付き合い方」を実施したが、次年度は青少年育成協議会の事業として兼ねて実施することで、多くの保護者世代に学習してもらおうように工夫したい。
		2 放課後子ども教室推進事業（総合プラン一体型、子どもいきいきプラン、通学合宿）	生涯学習	児童クラブとの一体型に取り組み、児童クラブに通っている児童にも放課後子ども教室のカリキュラムを提供し、体験活動を充実させることができた。（関金）	B		
		3 倉吉地区少年補導センター事業への参画、青少年育成協議会との連携	生涯学習	補導センターとして評議員会2回、運営委員会4回開催。街頭補導を毎月実施した。	B		

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	10 公民館活動の推進 ～学習の質向上と学習成果の活用～	1 学習の質向上と学習成果の活用（公民館と地域振興の連携）	生涯学習	市公連・館長会と連携し、公民館事業について検討、議論した。 公民館主事の事務改善のため共通理解を図り、各公民館管理委員会で改善に向けて取り組むことの意味統一を図った。 公民館主事の研究部会を立ち上げ、業務改善に取り組んだ。 地震の振返りを館長会・主事会の研修会で実施した。	A		○公民館主事部会を通して他館の事業や管理運営など参考にすることができた。更に部会として、様式や事務の仕方をまとめるなどの取り組みが成されている。行政が与えるのではなく、主事自らが考えて工夫していく仕組みができてきた。 ○地震の経験から地区公民館に何ができるか、何をすべきかを振り返り、次年度へ向けた事業や役割を検討することができた。 ○中国・四国・九州地区生涯学習実践研究交流会で、2年連続倉吉市公民館が発表するなど、公民館事業を発信することができた。また、NCNなどメディアを使った発信も積極的に実施することができた。 ○後半は地震による建物修繕業務に追われながらも、予定していた北谷トイレ修繕工事ほかを年度完了を予定している。 ○緊急修繕として社公民館と成徳公民館の一部を迅速に改修することができた。その他の館は安全性を確認することで利用に支障がないよう努めた。
		2 人づくり・地域づくりの推進（公民館研究指定事業）	生涯学習	・地震により計画訪問は中止し帳簿の点検のみ実施した。 ・NCN「笑顔あつまれ公民館!」、ラジオ番組、新聞で公民館活動をPRすることができている。 ・館報を市HPに掲載することで他館の情報を収集しやすくした。 ・第6回全国公民館報コンクール（隔年実施）において社公民館報が最優秀賞を受賞。「思わず手にとって読んでみたくなる館報」「住民の顔がよく見える館報」として高い評価を得た。 ・地区公民館職員が、自治公協議会の役員（体育部など）に中学生ボランティアの活用の仕方や住民への周知（中学生の活躍を紹介し評価する）など助言し、コーディネートした。	A	A	
		3 安全安心な施設整備（北谷・灘手トイレ洋式化、成徳屋根、小鴨手摺修繕）	生涯学習	鳥取県中部地震の影響から緊急に対応する必要のある災害復旧工事を実施した。当初予定している修繕及び工事について、当初の計画を変更し実施している。	A		

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	文化財の保存、活用、伝承	1 伝建地区の保存（修理・修景事業、保存対策調査）	文化財	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度予定の事業の内、修景1件中止となった。変更申請を含め年度内に終わった。 修理件数4件、修景1件を実施し伝統的建造物や景観を保護する事が出来た。 10月21日に発生した鳥取県中部地震において被災した伝統的建造物（建築物、工作物）の修理について着手した。 地区内の伝統的建造物を守ることで市民の生活、歴史的景観、観光産業に寄与することができた。 	A		<ul style="list-style-type: none"> 伝建の修理5件を予定どおり執行した。 鳥取県中部地震で被災した地区住民の方や設計士、工務店に伝建修理説明会を実施し、速やかな修理に移行することが出来た。 地震による被災に対し文化庁、鳥取県と綿密な調整を行いながら迅速に修理事業を実施した。
				<ul style="list-style-type: none"> 10月21日鳥取県中部地震による被災や新潟県の大規模火災等の発生を受け、伝統的建造物群を保存する為、歴史的景観の保存を第一に本市の抱える中心市街地活性化や定住策を検討した計画の策定ができた。 	B		<ul style="list-style-type: none"> 倉吉町並み保存会と協働で地区内の建造物、工作物の悉皆調査を実施することが出来た。これにより速やかな調査が行え迅速な保護対策が行なっている。 伝建群の地震被害では国内で初めてヘリテージマネージャーによる被災状況調査を行った。 伝建保存活用計画策定においては保存を第一にしながら災害対策や中心市街地に関することや住み続けるための計画の検討を行うことが出来た。
		2 指定文化財の整備と発信（小川家・庭園、倉吉淀屋） 埋蔵文化財の調査（中尾遺跡、天神野・津原遺跡群）	文化財	<ul style="list-style-type: none"> 波波伎神社社叢神社保存活用計画を策定し、シンポジウムを開催することが出来た。また、次年度の伐採の計画を策定することが出来た。 史跡国分寺跡の不要木を半分伐採した。また、法華寺畑遺跡との間に連絡通路を設置した。 指定保護文化財小川家住宅・庭園事業が設計のみで中止となった。 倉吉淀屋は開館以来10万人の来館者を迎えることが出来た。付属屋の修理は痕跡を確認しながら実施することが出来た。 伯耆国守山上憶良赴任1300年記念事業、シンポジウムを計画通り実施することが出来た。 試掘調査を8件実施し開発側と調整を行なった。 中尾遺跡第2次（大谷工業団地再整備事）・天神野遺跡群（国道313号倉吉道路改良事業）陣屋関連遺跡（成徳小学校改築工事）の発掘調査を開発側と調整を図りながら行い、事業の円滑な推進に寄与した。また、文化財の記録保存を行なうことができた。 地震で被災した国重要文化財や史跡などを調査し、国分寺の塔基壇など修理に取りかかることが出来た。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 波波伎神社社叢の保存活用計画を策定した。 波波伎神社社叢の植生や保護に関するシンポジウムを開催し、地区の方々等に国天然記念物を再認識することが出来た。 国分寺跡の不要木伐採により陽の差し込む健康的な遺跡になった。連絡通路の設置により法華寺畑遺跡との行き来が安全になり利便性を向上させることが出来た。 シンポジウムは埋蔵文化財に短歌を組み合わせることで史跡の文化的な側面や当時の生活を考えることによる伯耆国庁他の重要性を再認識するきっかけとなり幅広い年代に興味を持っていただくことが出来た。 弥生時代の中尾遺跡第2次は、3か年に及ぶ調査となった。現地説明会や開発事業者の会社での説明会を行う事で埋蔵文化財に関する認識、興味を高めることが出来た。 各発掘、試掘に関し報告書を作成することで記録保存を行う事ができた。

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	13 親しみ学ぶ機会の提供できる博物館	1 郷土の文化芸術、伝統文化を学べる場の提供	博物館	概ね計画どおり進行したが、10月の地震被災の関係で普及事業のうち11月分を中止した。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度上半期はほぼ計画どおり進行した。 ・4月開催の「北斎展」では北斎の細密描写に18,000人を超える入館者があり、多くの人に質の高い作品を提供することができた。 ・菅楯彦大賞展も予定どおり進行し、京都会場は6日間だけの展示であったが入館者は1,000人を超えた。 ・資料館施設の改修工事は地震による影響で設計業務が大幅に遅れ、年度内の工事着工ができなかった。
		2 美術展の開催（北斎展、菅楯彦大賞展）	博物館	計画どおり進行した。菅楯彦大賞展では受賞者全員が表彰式に参加し、ギャラリートークで自作を語り、参加者により作品を理解する機会となった。	B		
		3 安全安心な施設整備（資料館の改修工事）	博物館	設計業務の業者選定が遅れたことと地震により設計委託業者の納品が遅れ、工事発注に至らず、工事が年度内に完了しなかった。	C		
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	14 豊かな心を育む図書館づくりの推進	1 図書館資料の収集提供、レファレンスサービスの充実	図書館	話題になっている事柄を取り込んだ多くの展示を実施し、読書への関心を高めた。震災後はいち早く特集を組み地震関連の図書を提供した。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートは変わらぬ人気で効果を挙げている。震災後にすばやく地震関連の図書を集めた展示を行うなど、時期をみたタイムリーな展示を心がけた。初めて小学校と連携して取り組んだ絵本作家講演会は好評で、来年度以降も継続する予定である。 ・教育委員会、地区公民館、民間団体等と協力して実施した山上憶良伯耆守赴任1300年記念事業は注目を集め、シンポジウム、創作演劇など多くの人に喜んでいただけた。初めて全国公募した短歌募集事業は目標を大きく超える参加を得て、全国・海外の方に倉吉の名を知っていただけた。
		2 読書活動の推進	図書館	ブックスタートは好評で、家庭での読み聞かせの普及に効果がある。読書や図書に関心を持ってもらうための絵本作家講演会は初めて小学校と連携し実施し喜んでいただいた。他の各イベントも人気を集めた。	A		
		3 山上憶良短歌募集（1300年記念祭、全国からの募集）	図書館	初めて全国公募を行った山上憶良短歌賞は応募数が6,185首と多くの方に参加していただけた。このほか記念事業として多くの関連事業を教育委員会各課、地区公民館、民間が連携して実施し山上憶良と郷土のかかわりを広く知っていただくことができた。	A		

6 教育委員会の主な動向

(1) 教育長・教育委員の在任状況

(H29. 3. 31現在)

職名	氏名	年齢	就任年月日	任期	保護者
教育長	福井 伸一郎	65	H27.10.3	H30.10.2	
教育長職務代理人	宮近 誠	57	H26.1.1	H29.12.31	
委員	田民 義和	59	H28.10.5	H32.10.4	
委員	仲田 優子	56	H28.10.5	H31.10.4	○
委員	福井 真喜代	64	H26.10.8	H30.10.7	

① 法改正に伴い新たな教育委員会の代表（教育長）を決定（市長が任命）

平成26年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育長が教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表するとされた。このことにより、従来、教育委員会の代表者である教育委員長が、事務の統括責任者である教育長へ一本化され、任期が3年となった。

改正後の法律による新教育長に、平成27年10月3日付けで福井伸一郎氏が任命された。

また、平成28年10月5日付で教育長職務代理人に宮近誠氏が決まった。

(2) 教育委員会の会議

(H28. 4. 1～H29. 3. 31)

会議名	回数	備考
教育委員会	16	議案26件、協議事項13件、報告事項207件

(3) 教育委員会の開催状況

4月26日第6回定例会

議案（2件） 議案第16号 平成28年度倉吉市の教育方針と重点施策について
 議案第17号 倉吉市立小・中学校の学校運営協議会指定について
 協議事項（4件） 平成27年度倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価について
 平成28年度倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施計画について
 平成28年度土曜授業について
 倉吉市立小学校適正配置協議会設置要綱（案）
 報告事項（17件） 教育長報告ほか16件

5月25日第7回定例会

議案（3件） 議案第18号 平成27年度倉吉市教育行政の点検及び評価について
 議案第19号 平成28年度教育費補正予算について
 議案第20号 議会の議決を経るべき工事請負契約の締結に係る意見の申出を教育長へ委任することについて
 報告事項（15件） 教育長報告ほか14件

6月27日第8回定例会

議案（3件） 議案第21号 学校給食センター調理等業務委託業者評価委員会設置要綱の制定について

議案第22号 学校給食センター調理等業務委託業者評価委員の委嘱又は任命を教育長が専決することについて
議案第23号 倉吉市教育委員会事務局職員の処分について
協議事項（1件） 学校給食における食物アレルギー対応の見直しについて
報告事項（31件） 教育長報告ほか30件

7月26日第9回定例会

報告事項（16件） 教育長報告ほか15件

8月24日第10回定例会

議案（1件） 議案第24号 平成28年度教育費補正予算について
報告事項（20件） 教育長報告ほか19件

9月27日第11回定例会

議案（1件） 議案第25号 倉吉市立小学校適正配置協議会設置要綱（案）について
協議事項（2件） 教育長職務代理者について
倉吉市教育委員会防災計画（案）及び倉吉市避難所運営マニュアル（案）について
報告事項（18件） 教育長報告ほか17件

10月27日第12回定例会

報告事項（16件） 教育長報告ほか15件

11月22日第13回臨時会

議案（1件） 議案第26号 平成28年度教育費補正予算について

11月25日第14回定例会

議案（2件） 議案第27号 倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区保存計画の変更（特定物件の追加・削除）について
議案第28号 倉吉市教育委員会事務局職員の処分について
協議事項（1件） 平成28年度教育委員会重点施策に基づく実施計画の進捗状況について
報告事項（12件） 教育長報告ほか11件

12月6日第15回臨時会

議案（1件） 議案第29号 平成28年度教育費補正予算について

12月26日第16回定例会

議案（4件） 議案第30号 平成28年度教育費補正予算について
議案第31号 学校医の変更について
議案第32号 平成28年度末倉吉市学校教職員人事異動方針について
議案第33号 倉吉市吹玉川伝統的建造物群保存地区保存計画の変更（特定物件の追加・削除）について
協議事項（2件） 平成29年度倉吉市立小中学校土曜授業実施について
倉吉市立小・中学校の適正配置推進について
報告事項（17件） 教育長報告ほか16件

1月26日第1回定例会

- 協議事項（ 2件） 平成28年度倉吉市教育委員会表彰について
倉吉市復旧復興計画（教育委員会所管分）について
報告事項（17件） 教育長報告ほか16件

2月23日第2回定例会

- 議案（ 3件） 議案第1号 平成28年度教育費補正予算について
議案第2号 平成29年度倉吉市教育委員会主要事業について
議案第3号 平成29年度教育費当初予算について
協議事項（ 1件） 平成29年度倉吉市の教育方針と重点施策（案）について
報告事項（ 9件） 教育長報告ほか8件

3月10日第3回臨時会

- 議案（ 1件） 議案第4号 平成28年度教育費補正予算について

3月14日第4回臨時会

- 議案（ 1件） 議案第5号 平成28年度末倉吉市学校教職員人事異動について

3月23日第5回定例会

- 議案（ 3件） 議案第6号 平成29年度倉吉市の教育方針と重点施策について
議案第7号 倉吉市立小学校及び中学校管理規則の一部改正について
議案第8号 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
報告事項（19件） 教育長報告ほか18件

(4) 総合教育会議の開催状況

5月25日第1回総合教育会議

- 協議事項（ 1件） 倉吉市教育に関する施策の大綱について

12月26日第2回総合教育会議

- 協議事項（ 1件） 鳥取中部地震発生に伴う倉吉市教育委員会の取り組みについて

(5) 計画訪問・意見交換会・諸行事への参加

① 学校計画訪問

H28. 6. 29	関金小学校計画訪問
H28. 7. 14	灘手小学校計画訪問
H28. 9. 28	北谷小学校計画訪問
H28. 10. 7	小鴨小学校計画訪問
H28. 10. 17	東中学校計画訪問

H28. 10. 26	上灘小学校計画訪問
H28. 11. 2	上北条小学校計画訪問
H28. 11. 14	明倫小学校計画訪問
H28. 11. 21	河北中学校計画訪問

② 意見交換会

H28. 12. 27	倉吉市小学校PTA連合会と教育委員との意見交換会
-------------	--------------------------

③ 教育を考える会

H28. 8. 25	明倫地区教育を考える会
H28. 9. 9	上小鴨地区教育を考える会

④ 倉吉市立小・中学校適正配置説明会

H28. 4. 15	学校統合準備委員会
H28. 5. 6	関金小学校教職員・保護者との意見交換会
H28. 5. 10	西郷小学校区適正配置説明会
H28. 5. 12	河北小学校区適正配置説明会
H28. 5. 16	小鴨小学校区適正配置説明会
H28. 5. 24	成徳小学校区適正配置説明会
H28. 5. 26	灘手小学校区適正配置説明会
H28. 5. 30	明倫小学校区適正配置説明会
H28. 6. 2	上北条小学校区適正配置説明会
H28. 6. 28	関金小学校区適正配置説明会
H28. 6. 30	上小鴨小学校区適正配置説明会
H28. 7. 5	北谷小学校区適正配置説明会
H28. 7. 6	高城小学校区適正配置説明会
H28. 7. 12	社小学校区適正配置説明会
H28. 7. 14	上灘小学校区適正配置説明会
H28. 7. 26	関金小学校教職員・保護者との意見交換会
H28. 8. 9	市民シンポジウム「倉吉市立小・中学校の適正配置等について」

⑤ 諸行事への出席

H28. 4. 5	転入新教職員宣誓式
H28. 4. 7	新関金小学校開校式
H28. 4. 8	倉吉市立小中学校入学式
H28. 4. 9	特別展「北斎展」開会式
H28. 5. 7	倉吉市小・中学生淀屋サミット
H28. 5. 7	倉吉市小学校 PTA 連合会総会、倉吉市中学校・養護学校 PTA 連合会総会
H28. 5. 27	中部地区教育委員会連絡協議会研究会
H28. 5. 29	倉吉市美術展覧会開会式
H28. 6. 12	倉吉市美術展覧会表彰式
H28. 6. 14～ H28. 6. 15	小中学校一斉公開
H28. 7. 8	鳥取県市町村教育委員会研究協議会 定期総会並びに研究大会
H28. 7. 28	全国高校総体（自転車競技）開会式
H28. 8. 1	市町村教育委員会委員研修会
H28. 8. 30	中部地区社会教育関係者研修会兼生涯学習実践研究交流会
H28. 9. 9	鳥取看護大学・短期大学公開講座閉講式
H28. 9. 10	シンポジウム OKURA
H28. 9. 11	第9回菅楯彦大賞展表彰式
H28. 9. 17	倉吉市生涯学習講座開講式

H28. 10. 1	南部忠平杯第 31 回くらよし女子駅伝・第 36 回日本海駅伝競走大会開会式
H28. 10. 20	中国地区都市教育長会定期総会並びに研究協議会
H28. 11. 26	倉吉市生涯学習講座閉講式
H28. 12. 3	菜の花プロジェクト報告会
H28. 12. 16	倉吉市公民館研究大会
H29. 1. 3	平成 28 年倉吉市成人式
H29. 2. 4	学校給食週間事業児童生徒作品展表彰式
H29. 2. 18	第 6 1 回倉吉文芸表彰式
H29. 2. 19	倉吉市体育協会スポーツ表彰式
H29. 2. 23	打吹公園だんご教育奨励賞・倉吉市教育委員会表彰 表彰式
H29. 3. 5	倉吉市創作文華展 開会式
H29. 3. 10	中学校卒業式
H29. 3. 17	小学校卒業式
H29. 3. 26	山上憶良短歌賞表彰式